



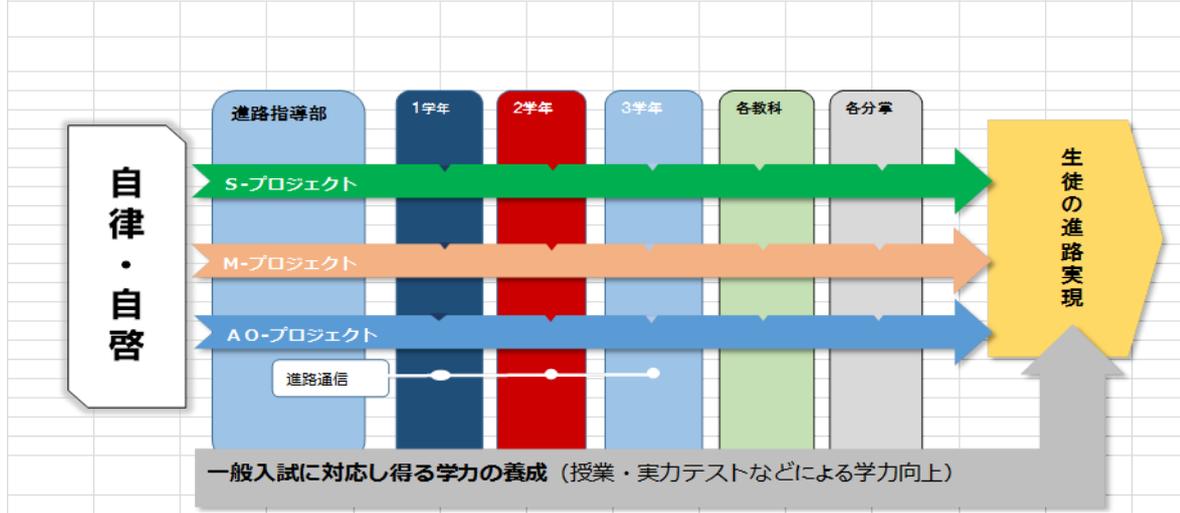
白堊はくあ

第02号

平成27年4月30日発行



≫ 平成27年度 青森高等学校 進路指導部 指導概要【イメージ】



進路指導の方針と取り組み

4月も終わりを迎え、授業・部活動・行事

などが本格的に始動しましたが、生活のペースはつかめているでしょうか？
 目前に控えたGWは春季大会や練習試合など、部活動の比重も大きいですが、GW明けには「五月テスト」(1・2年)「実力テスト」(3年)が控えています。ここまでの復習・発展的学習など、テーマを掲げて有意義な自宅学習もお忘れなく。

さて、今年度の進路指導は、全学年を通じて、「進路志望達成と自己実現」をはかるため、**全校挙げてのサポート体制**を強化することをテーマに掲げています。特に強調したいのは、生徒の皆さんが「将来の目標を具体的に打ち立てること」「三年間の見通しを立てること」「チャレンジ精神を持つこと」ができるようになる、ということだと思います。その軸となるのが、次の三本柱です。

■Sプロジェクト

東大・京大をはじめとする最難関大への進学を目指す生徒に対し、平常授業に加えて特別講習・添削指導・大学主催のイベントへの参加を通じ、チームとして切磋琢磨し合うプロジェクトです。

■Mプロジェクト

医学部医学科進学を目指す生徒同士がチームとして、講演会や体験学習、校内でのグループディスカッション等の取り組みを通じ、医師について、医療について互いに考えを深め「医師になる志」を磨いていく取り組みです。

■AOプロジェクト

推薦入試・AO(アドミSSIONオフィス)入試に対応できる発展的思考力・コミュニケーション能力・論文記述力を鍛えていく取り組みです。最近大学側は、このような能力をもつ生徒を受け入れたいというところを明確に打ち出し、入試改革に着手しています。基本的な学力を土台として自ら考え、発想し、それを伝える総合力を鍛えることは、単に「入試に合格する」ためだけではない、社会でも役に立つ力をつける「キャリア」形成といえます。

以上の取り組みはしかし、**普段の授業で培う基礎的な学力**が土台としてしっかりしていなければ、何の意味もありません。授業に能動的に取り組む、そこで得た知識・考えを活かそうという姿勢で臨んでください。

各プロジェクトの主な取り組み

■S-プロジェクト/学力向上セミナー(7月)/東大・東北大オープンキャンパス/東大Web講座/東大生出張セミナー/最難関大対策講習・添削

■M-プロジェクト/医師による講演会/外科手術体験セミナー/医療チュートリアル(施設見学)/被災地講演会/医学科生によるワークショップ/演習/

■AOプロジェクト/大学等主催のセミナー・キャンプ/〇〇オリンピック・甲子園/懸賞論文・作文/志望理由書対策/面接対策/小論文対策/オープンキャンパス

5月の目標	1学年	2学年	3学年
	中学校との違いを知り、自ら動く	英・数・国を補強する	努力・工夫・チャレンジで自分を高める

行事リポート①

医学科集会・AO入試集会【4/15】
最難関大志望者集会【4/22】

M/AOプロジェクトのスタートとして、四月十五日（水）の放課後、3年生の希望者を対象に「医学科集会/AO入試集会」を開催しました。集会では入試・進学にあたっての心構えや具体的な取り組みの紹介、今から準備すべき事柄などを説明しました。両集会とも意欲ある生徒諸君で会場が埋まり、立ち見が出るほどでした。会を終え、出席者は「先手必勝」とばかりに即座に資料調べに取りかかり、志望大学の入試科目・必要書類などをチェックしていました。今後は、総体明けからすぐ始動できるよう保護者・担任と相談のうえ意志を固め、情報収集などの準備を進めて欲しいと思います。

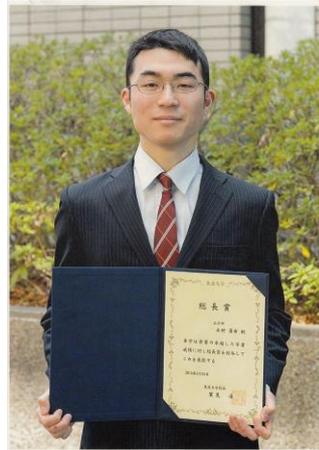
四月二十二日（水）には、Sプロジェクト「最難関大志望者集会（3学年対象）」

を開き、東大・京大などの難関大志望者が参加すべき行事や添削指導の実施計画などについて説明しました。参加者は一様に真剣に耳を傾け、意欲を新たにしていました。初心を忘れず、がんばって行きましょう！



本校卒（六十一回生）木村勇希さん、
東北大学「総長賞」受賞

東北大学学位記授与式において、学業成績優秀により、工学部・木村勇希さん（六十一回生）が「総長賞」を受賞なさいました。木村先輩を誇りに思うとともにこの快挙を励みにしましょう。



行事リポート②

旧3学年担任講演会【4/21】

本校では毎年、昨年度の卒業担任から新3年生へむけ、受験に向かう上で気をつけて欲しいことなどをレクチャーする当講演会を開催しています。今年も昨年度の3学年担任であった笠井先生（現進路指導部）を講師として実施しました。

講演では入試突破の「心構え」「戦略」「実践」の三拍子が大切であり、とりわけ「信じる力」「折れない、しなやかな心」が大切であると語っていました。また、実践面では、早期に志望校の過去問を具体的に分析して

進路指導室のこえ②——コラム
青森高校の桜は、はや満開。芝生の緑も日増しに深まってゆきます。北国の春はすべての生命が生きる喜びを魂の底から表現しているようで心を揺さぶられます。そんな爽やかで穏やかな春の日には、昼休みに弁当や本を持って校庭に出てみてはどうでしょうか。前庭には三四郎池があり、鯉も泳いでいます。傍らには本校十九回卒業生が寄贈してくれたベンチも。のんびりと春の日差しと風を浴びながら、気分転換も兼ねてゆったりとした時間を過ごしてみてもいいかが？（明）

授業を受けることが大事とのことでした。「推薦・AO出願のための「志望理由書」は夏休み明けまでに3〜4回添削を受けていなければ間に合わない」という、実際の指導経験からのリアリティのある話も聞くことができました。

講演を聴いた生徒は「後回しにせず基礎基本を今からがんばりたい」と感想を述べていました。

2015/5月 おもな進路行事			
	1学年	2学年	3学年
7 木			進路講演会
12 火		医学科志望者集会	推薦志望者集会
13 水			実力テスト
14 木	5月テスト	5月テスト	実力テスト
29 金	医師による講演会	医師による講演会	医師による講演会